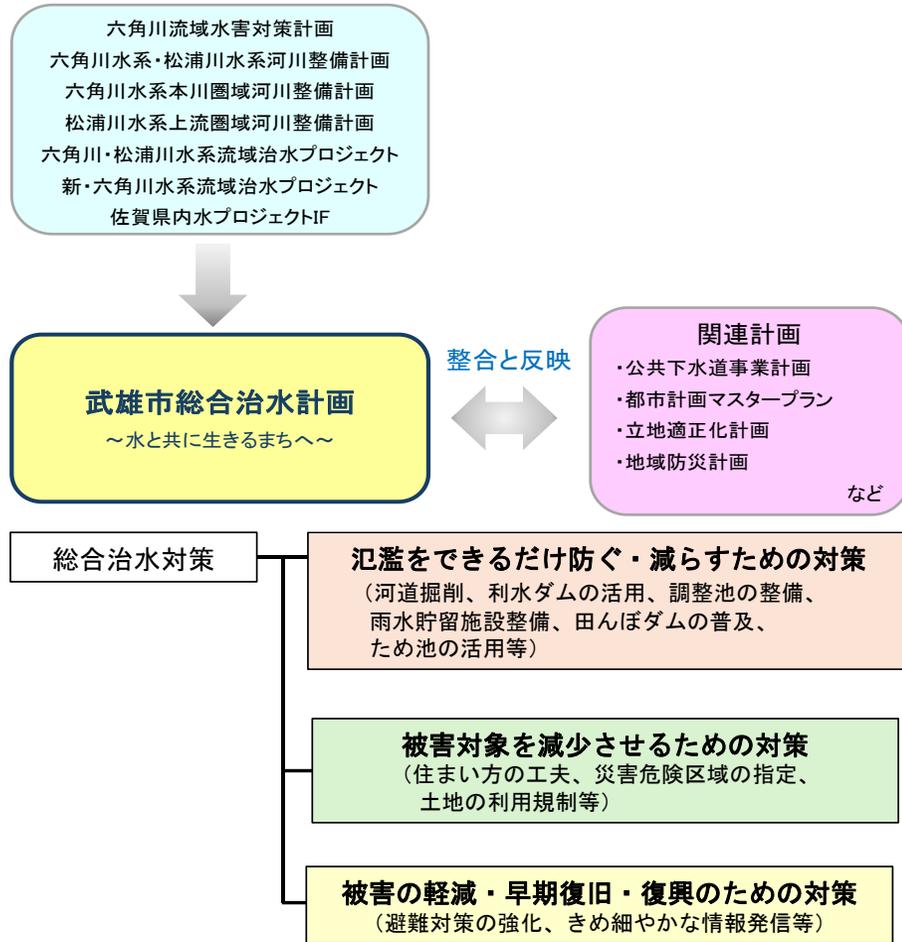


武雄市総合治水計画（案） 概要版

1. 計画の策定にあたって



2. 現状と課題

令和3年8月豪雨により、六角川流域では内水浸水、松浦川流域では河川周辺で道路冠水が発生。

六角川水系 河川 (35河川) 主要水門・樋門・堰 (54箇所)
 排水施設 (12ヶ所)
 松浦川水系 河川 (26河川) 主要水門・樋門・堰 (2箇所)
 塩田川水系 河川 (2河川)

3. 総合治水計画

実施機関	関連計画	主な事業メニュー
国	六角川水系流域水害対策計画 六角川水系・松浦川水系河川整備計画 新・六角川水系流域治水プロジェクト 等	・六角川洪水調整池・遊水地 ・堤防整備 ・雨水貯留浸透施設整備
県	六角川水系流域水害対策計画 六角川水系本川圏域河川整備計画 松浦川水系上流圏域河川整備計画 等	・六角川流域支川改修 ・松浦川・鳥海川改修 (皿堰含む) ・浸水被害防止区域・貯留機能保全区域の指定
市	六角川水系流域水害対策計画 「ためる」プロジェクト 等	・公共施設を活用した雨水貯留施設 ・遊水公園 ・ため池の活用・田んぼダム
連携 (国、県、市)	六角川水系流域水害対策計画 等	・利水ダムの活用 ・防災教育や防災知識の普及活動

4. 総合治水対策と効果

六角川流域水害対策計画や松浦川水系上流圏域河川整備計画等に定める対策も含め、総合治水対策の取り組みを進める。今後20年を目標に計画的に進め、令和3年8月降雨想定に対し、床上浸水を解消

5. 行動計画 (スケジュール)

	短期対策 既存施設の有効活用効果の 早期発見が見込まれる対策	中期対策 事前調査、調整に時間を要する と想定される対策	長期対策 事業規模が大きく長期化が予想 される対策
河川整備	・雨水貯留施設整 (国)	・六角川流域支川改修 (県) ・松浦川・鳥海川改修 (県)	・遊水地整備 (国) ・堤防整備 (国) ・ポンプ排水の適正化 (国)
流域対策	・公共施設を活用した雨水貯留施設 ・利水ダム及びため池の活用・田んぼダム、遊水公園		

武雄市が実施する主な対策

(1) 公共施設を活用した雨水貯留浸透施設の整備

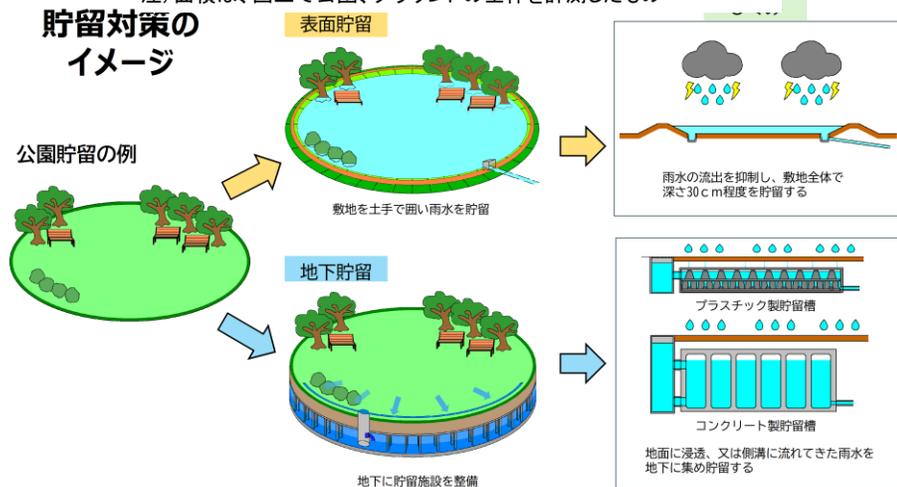
現在の利用状態調査しながら公有地を活用した雨水貯留浸透施設の整備を推進

▼検討実施予定箇所

No	種別	名称	地区	面積(㎡)
1	都市公園	中央公園	武雄地区	1,000
2	都市公園	一の坪公園	武雄地区	1,700
3	体育施設	天神崎公園	武雄地区	7,300
4	体育施設	迎田緑地	武雄地区	5,100
5	体育施設	白岩運動広場	武雄地区	10,800
6	体育施設	北方グラウンド	北方地区	7,000
7	体育施設	北方運動公園 運動場	北方地区	10,900
8	体育施設	サンスポーツランド北方	北方地区	10,700
9	小学校	武雄市立武雄小学校	武雄地区	6,000
10	小学校	武雄市立御船が丘小学校	武雄地区	10,800
11	小学校	武雄市立橋小学校	橘地区	7,500
12	小学校	武雄市立朝日小学校	朝日地区	11,000
13	小学校	武雄市立武内小学校	武内地区	8,800
14	小学校	武雄市立北方小学校	北方地区	11,100
15	中学校	武雄市立武雄中学校	武雄地区	13,100
16	中学校	武雄市立北方中学校	北方地区	14,300

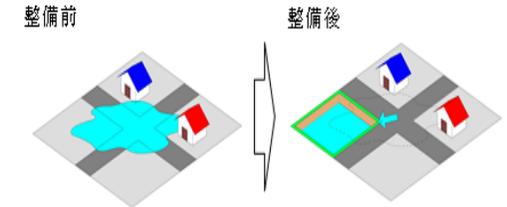
注)面積は、図上で公園、グラウンドの全体を計測したもの

貯留対策のイメージ



(2) 遊水公園の整備

新たな公園整備については遊水機能を付与



(3) 雨水貯留タンク

公共施設への設置促進
補助制度を設けながら民間・個人での設置推進

(4) ため池の有効活用

大規模ため池を活用し事前放流を行い下流河川への流出を抑制
放流口の改良による下流河川への放流のピークカット

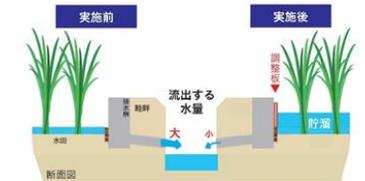


(5) 田んぼダム

田んぼダムの推進とせき板形状の検討

(6) クリーク・農業用水路の有効活用

大雨前の事前放流により雨水貯留ポケットの確保



(7) 雨水貯留浸透施設を有する舗装の活用

透水性舗装や保水性アスファルト舗装の活用

(8) 家屋嵩上げの対策

局所的に床上浸水リスクが残るエリアの家屋について
家屋の嵩上げ等浸水を防ぐ対策を検討実施

(9) 内水監視カメラ、浸水センサー等の設置

避難誘導支援のために、内水監視カメラ・センサー設置の推進

(10) 防災アプリによる住民へのリアルタイム情報の提供

大雨時のリアルタイム情報提供のための防災アプリの加入促進